

産業建設常任委員会記録

令和3年5月25日

【開催日】 令和3年5月25日

【開催場所】 第2委員会室

【開会・散会時間】 午前10時～午後2時22分

【出席委員】

委員長	中村博行	副委員長	藤岡修美
委員	岡山明	委員	高松秀樹
委員	恒松恵子	委員	森山喜久
委員	宮本政志		

【欠席委員】

なし

【委員外出席議員等】

議長	小野泰
----	-----

【執行部出席者】

副市長	古川博三	経済部長	河口修司
公営競技事務所長	桶谷一博	公営競技事務所次長	木村清次郎
公営競技事務所主幹	大下賢二	公営競技事務所主任主事	川野翔太郎
公営競技事務所主任主事	村上良平	公営競技事務所主任技師	山本達也

【事務局出席者】

事務局次長	島津克則	書記	岡田靖仁
-------	------	----	------

【審査内容】

- 1 議案第48号 令和3年度山陽小野田市小型自動車競走事業特別会計補正予算（第2回）について

午前10時 開会

中村博行委員長 おはようございます。定刻になりましたので、ただいまより産業建設常任委員会を開催いたします。本日の審査内容は、お手元にあるとおりです。それでは早速審査に入りますが、その前に公営競技事務所長から報告があるということですので、お聞きします。

桶谷公営競技事務所長 御説明に先立ちまして、5月1日付けで人事異動がありましたので、職員の紹介をいたします。

木村公営競技事務所次長 5月1日の異動で市民活動推進課から公営競技事務所の次長という立場で着任しております、木村といいます。どうぞよろしく願いいたします。

大下公営競技事務所主幹 同じく5月1日付けで環境調査センターから公営競技事務所主幹として異動してまいりました、大下賢二と申します。よろしく願いいたします。

川野公営競技事務所主任主事 同じく5月1日付けで建築住宅課から異動してまいりました川野と申します。よろしく願いいたします。

中村博行委員長 以上ですね。それでは執行部からの説明をお願いします。

桶谷公営競技事務所長 それでは、議案第48号令和3年度山陽小野田市小型自動車競走事業特別会計補正予算（第2回）について御説明します。なお、お手元に資料を用意しておりますので、こちらも併せて御説明します。今回の補正は、令和2年度の決算見込みにつきまして、歳入が歳出に不足する見込みですので、地方自治法施行令第166条の2の規定に基づきまして、令和3年度の歳入を繰り上げて、これに充用するものです。予算書1ページを御覧ください、第1条です。歳入歳出予算総額にそれぞれ11億9,000万円を追加し、歳入歳出予算総額をそれぞれ230億4,147万1,000円とするものです。続きまして、予算書5ページ、6ページを御覧ください。上段の歳入では、3款諸収入、2項雑入、1目雑入、1節雑入におきまして、歳入欠陥補填収入として11億9,000万円を計上しています。また、下段、歳出では、4款前年度繰上充用金、1項前年度繰上充用金、1目前年度繰上充用金、21節補償、補填及び賠償金におきまして、前年度繰上充用金として、

令和2年度の歳入歳出不足額に充てるため、11億9,000万円を計上しています。なお、予算の調製の様式は、地方自治法施行規則に基づいて作成しています。続きまして資料を御説明します。詳細は決算委員会で改めて御説明します。まず、資料1を御覧ください。こちらの資料は令和2年度の各場の売上状況です。合計欄ですが、5場全体の売上合計が946億4,554万800円となり、対前年度比128.1%となっています。このような売上状況の中、山陽場ですが、黄色で色塗りしている欄になります。まず、左端の開催日数ですが、上段が令和2年度の開催日数で89日となっています。下段が令和元年度の開催日数で65日ですので、24日の増加となっています。この89日の内訳ですが、まず、昼間のレースですが、当初予定どおり51日の開催となりました。令和元年度が47日でしたので4日の増となりました。一方、ミッドナイトレースですが、新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から3日、台風の影響で2日、合計5日中止としましたので、当初予定の43日が38日の開催となりました。令和元年度が18日でしたので20日の増となりました。続きまして、総車券売上額ですが、170億7,798万3,800円、対前年度比148.2%と大きく伸び、市町合併後の最高売上を記録したところですが、あわせて、右隣、1日の平均売上額も伸びています。内訳では、本場と場間場外は落ち込んでいるものの、電話投票における民間ポータルや重勝式が大きく伸びています。重勝式は対前年度比147.4%と続伸し、成長期から成熟期に入った印象を持っています。続きまして、表の中央やや右にあります本場入場者数ですが、こちらの数値は山陽場に來られたお客さんの人数になります。37,728人、1日平均では739人となっています。なお、1日平均はミッドナイトレースの開催日数を除いた数値となっています。全场、大きく減少していますが、これは、新型コロナウイルス感染拡大防止対策として、無観客でレースを開催した影響によるものです。続きまして、電話投票利用者数ですが、売上額同様に民間ポータルが大きく伸びています。資料1につきましては以上です。続きまして、資料2を御覧ください。こちらの資料は、ミッドナイトレースを抜き出して

作成した資料で、先ほどの資料1の内数となります。38日の開催で、売上額は重勝式を除いた7賭式の売上額42億2,945万800円で、1日平均でおよそ1億1,100万円となりました。令和元年度の1日平均がおよそ7,700万円でしたので、3,400万円増加しています。ミッドナイトレースは、お客様を入れずにネット投票のみを行うレースですが、この資料の中で、本場売上額と専用場外の欄に数字が計上されています。これはミッドナイトレースの前売発売等を行っているものです。本場では、早朝外向発売所におきまして7時20分から15時、そして開門後は、場内の投票所で昼間の場外発売最終レースの発売締切りまで発売しています。これは、既存の資源を最大限活用しながら、ミッドナイトレースの売上向上を目指すもので、昼間のレースの売上げとの相乗効果も期待するものです。続きまして資料3を御覧ください。こちらの資料は、各種の決算見込数値をまとめたものになります。資料の左側に付している番号に沿って御説明します。まず、1は令和2年度歳入歳出決算見込みです。歳入が174億9,589万1,000円、歳出が186億7,804万4,000円となり、歳入歳出差引不足額が11億8,215万3,000円となる見込みです。この歳入歳出差引不足額が令和2年度末での累積赤字見込額となります。なお、この度の補正予算におきましては、百万の単位を切り上げた11億9,000万円を繰上充用金として計上しています。続きまして、2は令和2年度の単年度収支です。歳入は1と同じく174億9,589万1,000円となります。一方、歳出には累積赤字額、つまり前年度繰上充用金が含まれていますので、この金額12億2,281万8,000円を除いた、174億5,522万6,000円が歳出額になります。その結果、4,066万5,000円の黒字となる見込みです。続きまして、3は累積の赤字額になります。1と同じ数値ですが、こちらは、前年度からどれだけ累積赤字額が減っているのかに着目した計算になります。令和元年度末時点での累積赤字額が12億2,281万8,000円でしたので、この数値から令和2年度の単年度黒字額4,066万5,000円を差し引いた11億8,215万3,000円が令和2年度末の累積赤

字額となります。続きまして、4はリース料関係になります。令和元年度末のリース料の残額が5億3,699万5,000円で、令和2年度に7,671万3,000円返済しましたので、令和2年度末のリース料残額は、4億6,028万2,000円となる見込みです。なお、リース料の完済時期は、令和8年度となっています。続きまして、5は累積赤字額とリース料残額の2つの債務が前年度からどれだけ減っているのかに着目した数値になります。なお、交付金猶予分は平成29年度に完済しましたので、全体の債務としては、累積赤字とリース料になります。数値は、上記の3と4を合算したものとなります。右端に付しているアルファベットAの1億1,737万8,000円が令和2年度の二つの債務解消額になり、その下の16億4,243万5,000円が令和2年度末の二つの債務残額となります。続きまして、6と7は保有する二つの基金になります。6が施設改善基金、7が財政調整基金になります。大規模なスタンド改修を控えていますので、6の施設改善基金を軸により多く積み立てることとしており、7の財政調整基金は、公営競技の施行者として不測の事態に備えるため2億円をめどに積み立てることとしています。両基金の増減額となりますBとCを合算した下から2行目の3億1,324万7,000円が、令和2年度に増額となった基金の総額となります。この金額に先のA1億1,737万8,000円を加えたA+B+Cの金額4億3,062万5,000円が令和2年度の基金も含めた実質収支改善額になります。令和2年度につきましても、皆様に御理解いただきながら、単年度収支におきまして黒字、さらには基金へも一定額を積み立てることができました。こうしたことも踏まえ、実質収支改善額という表現を用いております。資料3につきましても以上です。続きまして資料4を御覧ください。こちらの資料は、小型自動車競走事業特別会計をその性質により4つのグループに分け、それぞれの収支を仕分けた表になります。資料の左側に付している番号に沿って御説明します。まず、1は小型自動車競走事業の根幹をなす開催に係る収支であり、包括的民間委託に関わる収支となります。歳入は、①の本場開催発売金83億4,638万円、場外事務協力費2億2,730万

6,000円などを合計した⑥の86億598万3,000円となります。続きまして、②の義務的経費は、払戻金、JKA交付金で、茶色でマーカーした数値60億1,362万3,000円となります。続きまして、③の開催経費は、賞典費や赤色でマーカーしています市の収益保証5,965万2,000円などを合計した黄色でマーカーした数値21億2,723万3,000円となります。そして、⑤の包括的民間委託料は、4億6,512万7,000円となり、歳出も、これらを合計した⑥の86億598万3,000円となります。続きまして、2は開催以外に係る収支になります。⑦の項目の中に赤色でマーカーしています収益保証5,965万2,000円は、同じく赤色でマーカーしています⑧の項目の地域公益事業1,305万円と主に人件費である固有経費3,151万3,000円に充当されます。なお、この表では明記されていませんが、充当された残りの残額が1,508万9,000円です。これが包括的民間委託により解消できた累積債務の額となります。続きまして、3は重勝式に係る収支になります。歳入は⑩重勝式発売金の45億8,459万6,000円になります。歳出は⑪の義務的経費であります重勝式払戻金とJKA交付金、⑫の開催経費である川口等他開催場への負担金、全動協への拠出金、⑬の株式会社JPFへの発売業務委託料、そして⑭の施設改善基金への積立金、⑮の財政調整基金への積立金の合計⑯の45億870万1,000円になります。この重勝式に係る収支は、7,589万5,000円となり、これも累積債務の解消額に充てられます。最後、4はミッドナイトレースに係る収支になります。歳入は、⑰勝車投票券発売金42億4,716万1,000円など合計で⑱の42億4,720万2,000円になります。歳出は、1の開催に係る収支と同じく義務的経費や開催経費となり、これら経費に加えまして、⑳の施設改善基金への積立金も計上しています。歳出の合計は㉑の42億1,873万2,000円になります。このミッドナイトレースに係る収支は2,847万1,000円となり、これも累積債務の解消額に充てられます。これら四つのグループの収支を整理し、まとめたものが表の一番下になります。先ほど資料3で御説明した内容と

同じものになりますので、説明は割愛させていただきます。以上で、補正関係の説明を終了します。令和3年度につきましても、これまでのお客様、そしてこれからのお客様に御愛顧いただけるよう、職員一丸となり全力で取り組む所存です。御審議のほど、よろしくお願いいたします。

中村博行委員長 それでは説明が終わりましたので、順次質疑を求めます。まず、決算書で何かありますか。（「なし」と呼ぶ者あり）資料が詳しいので、そちらから質疑を求めます。それではA3の資料1から何か質疑がありますか。

藤岡修美委員 先ほど桶谷所長の説明の中で、重勝式の売上げが成長期から成熟期に入ったとあり、これは初めての表現である気がしますので、これを詳しく説明してください。

桶谷公営競技事務所長 重勝式は通常の7掛け式と違いまして、お客様の資金がいわゆるローリングすることがないと言われております。そういったことから、重勝式の売上げを伸ばす一番のポイントは、広告をいかに適正に、必要なときに打っていくかが重要になると思っています。そうした観点からこれまでの重勝式の売上げを見ても、現在の広告活動では、恐らくこの辺りの金額が限度かなと思っていますので、安定期を迎えたのではないかという印象を持っております。

中村博行委員長 もう上限に来ているという表現にも聞こえるんですが、その辺の捉え方というのは、ニュアンスが違うと思うんです。成熟期と言うことは、もうこれからずっとこれくらいで推移するため、これからの伸びは期待できないという捉え方でもいいんですか。

桶谷公営競技事務所長 これ以上伸びないというよりも、現在の枠組みの広告活動の中では、現在の売上げが限度であるという感触を持っております。これまでも広告には全力を傾注してまいりましたが、また違った視点

での広告活動を踏み込んで行う必要があると思っております。

中村博行委員長 上限でこれ以上伸びないというよりは、これ以下になりにくいという意味だろうと思います。重勝式の会員数は今どのぐらいですか。

大下公営競技事務所主幹 5月23日現在で会員登録者数が23万9,671名です。

中村博行委員長 1年で伸びているという判断でいいですか。

村上公営競技事務所主任主事 はい、令和元年度末と令和2年度末とを比べますと、4万9,702人増加しています。

中村博行委員長 資料1でほかにありますか。（「なし」と呼ぶ者あり）それでは資料2に行きます。5年前と比べたら数字が伸びていますね。何か質疑がありますか。

藤岡修美副委員長 ミッドナイトレースはまだまだ伸び代はあると考えていますか。

桶谷公営競技事務所長 1日当たりの伸び代というよりも開催日数を増やしていくところにポイントを置いて展開していきたいと思っております。

中村博行委員長 ミッドナイトレースの日数を増やすということですが、他場もそういう傾向にあるんじゃないかと思うんです。その辺の兼ね合いで何か協議はされていますか。

桶谷公営競技事務所長 既に令和4年度の開催日数の調整に入っております。他場も同じようなレースを開催されていますので、それぞれ相乗効果をもって全場の売上げが伸びるような日数編成に留意しながら決めていき

たいと思っております。

中村博行委員長 前回、ミッドナイトレースの選手に対して手当を1日当たり2,000円アップしたということですが、選手の評判や評価は聞いていますか。

桶谷公営競技事務所長 選手会とは常に協議をしております、この度の手当の増額についても、ありがとうございますとお礼を頂いたところです。

中村博行委員長 これだけミッドナイトレースの売上げがいいので、賞金を上げてほしいなど賞金等への言及はありませんでしたか。もし聞いていたら教えてください。

桶谷公営競技事務所長 もともとミッドナイトレースは、施行者側の収支を改善していくことを第一の目的として始まったレースですが、ここ数年売上げが伸びてきておりますので、選手サイドからはそういった賞金交渉の話は頂いております。

宮本政志委員 売上げはずっと上がってきているんですけど、職員の負担とか人員の面は大丈夫ですか。

桶谷公営競技事務所長 売上げを伸ばすため、まずは年間の開催日数を増やしております。開催日数を増やして売上げを伸ばしますと、例えばレースの企画、賞金をどのようにするか等もろもろの事務処理がありますので、職員の強化は必要だと考えております。現に、この5月1日付けの人事異動で職員体制を強化したところです。

中村博行委員長 確かに増員していますね。ほかに質疑はありませんか。

恒松恵子委員 職員は、リモートワークに取り組んでいますか。取り組んでい

るとしたら、どのようなことをしていますか。

桶谷公営競技事務所長 現在は取り組んでおりませんが、昨年度はレースとレースの間にリモートワークを行っておりました。日頃手が回らない入力作業、売上げの分析、来年度以降の企画レースに係る業務等を自宅で行っておりました。

中村博行委員長 競走会のことを聞きますが、競走会もミッドナイトレースが増えて、開催日数が増えてきて、山陽と飯塚とを分ける体制にされているんじゃないかと思うんですが、そういったことが事務に何か影響がありますか。

桶谷公営競技事務所長 競走会におかれましては、競走実施法人という位置づけでレースの審判等を主に担っていただいております。開催日数が増えることにより、競走会の業務も必然的に増えてまいりますので、昨年度と今年度で合計6、7名の新たな職員を採用されたと聞いております。

中村博行委員長 山陽と飯塚が分離するという話はないんですか。

桶谷公営競技事務所長 東の競走会は、完全に支部制になっております。西の山陽場と飯塚場におきましては、完全な支部制までにはなっておりませんが、ある程度支部制に近い形の組織体制としておられます。

中村博行委員長 こちらのほうには余り影響はないということですね。

桶谷公営競技事務所長 そうですね。人数等が足りないときに、飯塚から応援に来ていただく等の相互での協力はされております。

中村博行委員長 こちらは公営競技としては関係ないことですね。ほかにありますか。（「ありません」と呼ぶ者あり）それでは資料3に行きます。

岡山明委員 繰上充用が最初に始まったのは、いつからか分かりますか。平成24年ぐらいだと思うんですが。

桶谷公営競技事務所長 正確な年度は記憶しておりませんが、平成13年度か14年度であったように記憶しております。

岡山明委員 今年も過去10年間の中で最高の売上げということですが、一番繰上充用額が一番多かった時期はいつ頃ですか。

大下公営競技事務所主幹 予算上では平成29年度が12億7,000万円です。そのときには今現在の本債務、リース料の償還、JKAの交付金の猶予分がありました。当時はミッドナイトレースもなく、重勝式もやっと日の目を見たという時期でしたので、法定のもの、あるいは契約に基づいたものを優先的に償還していこうという形でした。売上げも70億円程度が限界でしたので、本債務以外の二つの債務を償還していくと、収支はどうしても本債務が少し増えてしまうという状況でした。その結果、債務が約12億7,000万円となりましたが、それ以後はだんだん減っていきました。

中村博行委員長 最大の12億7,000万円のときは、三つの負債と言っていましたね。交付金の1号、2号が終わって、今二つになっているという状況ですよ。赤字の解消はスタンド改修を考えていくと令和14年という見通しであると前回も答えられたと思います。これについては、売上げが伸びているので、予定どおりという判断でいいですか。

桶谷公営競技事務所長 スタンド改修の計画を作るときに、いつ頃に債務が解消できるのか試算したときには、令和17年度に解消の予定で、ミッドナイトレースの回数が増えて売上げが伸びれば令和14年度という報告をさせていただきました。今後、スタンド改修をもう一度見直すことと

しておりますので、そういった中で収支見込みも含めまして、改めて、試算を行いたいと思っております。また、そういったものができましたら皆様方に御報告します。

中村博行委員長 資料4に行きましょう。同じような内容ですが、資料4で何かありますか。

高松秀樹委員 重勝式うんぬんの説明のときに、広告料の話がありましたよね。広告料というのは、「3 重勝式に係る収支」の中に入っているんですか。

村上公営競技事務所主任主事 「3 重勝式に係る収支」の⑬の発売業務委託料の中に含まれております。

高松秀樹委員 広告料は幾らですか。具体的な内容を教えてください。

桶谷公営競技事務所長 発売業務委託料につきましては、広告に特化した委託料ではなく、重勝式の販売に当たっての総括的な委託料になります。その中で広告費は、おおよそ年間1億円ぐらいとお聞きしております。広告の内容につきましては、一般的な紙面広告でしたり、ウェブ上での広告でしたり、そういったものが大きなものになります。

中村博行委員長 地域公益事業が約1,300万円ですが、当初1,500万円ぐらいで予定されていたと思うんですけど、何かできなかった事業があるんですか。

村上公営競技事務所主任主事 令和2年度に予定していたものは全部行いましたが、入札による減額分があるため1,500万円に比べて少なくなっております。

岡山明委員 地域公益事業に対する入札減は、毎年ありますね。過去10年で

最高の売上げという状況ですので、もう少し地域に還元できませんか。

桶谷公営競技事務所長 地域公益事業は、平成21年度から始まった事業です。予算規模は、当初1,000万円ぐらいから始まったように記憶しております。その後重勝式やミッドナイトレースの売上げが伸びたということで、1,500万円に増額し、令和3年度は更に200万円増加して、1,700万円の予算措置をしております。

岡山明委員 過去10年間で最高の売上げと新聞にも書かれており、市民もこの報道を見ていると思うんですよ。そういう状況で、地域貢献の増額が200万円ですよ、上がっていません。なおかつ、入札減で今回も実質1,300万円しか使っていないですね。ミッドナイトレースがあり、市民の皆様にもいろいろお世話になっているという状況であれば、例えば増額して2,000万円くらいにすることを私は希望するんですが、いかがですか。

桶谷公営競技事務所長 確かにそういった考え方も大切と思っておりますが、まずは現在抱えている赤字を解消し、財政の健全化を目指していくことが第一です。そういった状況でやり繰りして、1,500万円あるいは1,700万円を捻出しておりますので、その辺りで御理解いただきたいと思っております。

宮本政志委員 資料4の中に駐車場の賃借料は入っていますか。

大下公営競技事務所主幹 駐車場の件につきましては、土地の所有者と市と株式会社JPFとが3者間で契約を締結しています。その中で使用者である株式会社JPFの包括委託料から支払っています。

宮本政志委員 補正から少し離れるかもしれませんがよろしいですか。

中村博行委員長 本会議でも質問があると思いますので結構ですよ。

宮本政志委員 駐車場の件で、特に第5駐車場、そちらの返還の件が度々出ております。以前、地主と交渉するというお話もされていたと思いますが進捗状況はいかがですか。

桶谷公営競技事務所長 第5駐車場の地権者との協議は、今年の2月と3月末に行っております。長い間、大切な土地をお借りしておりましたので、まずは地権者の方に感謝の気持ちをお伝えし、オートレース場が抱えている現状等を説明させていただきながら、何とかソフトランディングできるように、鋭意協議をしております。

宮本政志委員 もう返却する意向ですよ。

桶谷公営競技事務所長 交渉事で相手方がある事ですので、詳細につきましては控えさせていただきます。

宮本政志委員 もし協議が整わなかったら、このままずっと借り続けるんですか。700台分ぐらいを借り続ける可能性もあるということですか。

桶谷公営競技事務所長 我々としては、ソフトランディングできるように、合意形成が図られるよう、最善の努力をしていきたいと思っております。

中村博行委員長 そこまでしか言えないということですね。（「はい」と呼ぶ者あり）ほかにありませんか。

恒松恵子委員 看板が気になっていまして、古いものから新しいものまでありますが、それに対して賃借料、修繕料、管理費用等はどのようになさっているか簡単に教えてください。

桶谷公営競技事務所長 例えば、走路の中に設置している看板は、市の歳入となります。一方、道路の交差点等所要の箇所に設置している看板は、包括的民間委託契約を受けていただいております株式会社 J P F が管理しています。（発言する者あり）先ほどから執行側の説明の中で株式会社 J P F という表現をしておりましたが、これは日本写真判定株式会社が 4 月 1 日から株式会社 J P F に社名を変更されております。

中村博行委員長 包括的民間委託料は 4 億 6, 5 0 0 万円ですけど、契約上では幾らになっていますか。

大下公営競技事務所主幹 単年度の契約では 6 億 2, 0 0 0 万円ということで精算交渉を行いまして、この金額になっております。

岡山明委員 「4 ミッドナイトレースに係る収支」⑱その他開催経費が、8 億 9, 0 0 0 万円ですね。ミッドナイトレースは照明等の経費が掛かるとは思いますが、本場でレースに関わるような金額は幾らぐらいですか。

村上公営競技事務所主任主事 開催経費を開催日数で割ると、約 2, 8 0 0 万円になっております。（発言する者あり）1 日当たりの金額です。

中村博行委員長 スタンド改修については、ゼロベースで考えることになっていましたが、もうスタートしていますか。

桶谷公営競技事務所長 5 月 1 日付けの人事異動で職員体制も強化し、スタンド改修の見直しに着手しております。

中村博行委員長 これからですね。ほかはよろしいですか。（「はい」と呼ぶ者あり）それでは質疑を閉じます。討論ございますか。（「なし」と呼ぶ者あり）討論はありませんので採決に入ります。議案第 4 8 号令和 3 年度山陽小野田市小型自動車競走事業特別会計補正予算（第 2 回）につ

いて賛成の方の挙手を求めます。

(賛成者挙手)

中村博行委員長 全員賛成です。したがいまして、議案第48号は可決すべきものと決しました。お疲れ様でした。

午前11時00分 休憩

午後2時20分 再開

中村博行委員長 それでは産業建設常任委員会を再開します。審査は、閉会中の継続審査事項についてです。一通り網羅されていますが、何かお気づきの点がありますか。

森山喜久委員 「地方卸売市場に関すること」ですが、公設市場ではなくなつたため、「地方卸売市場」を名乗れないと思います。したがいまして、「卸売市場に関すること」又は「市場に関すること」という記載にしたほうがよいのではないのでしょうか。

中村博行委員長 それでは、「地方卸売市場に関すること」から「地方」を削除してください。ほかはよろしいですか。（「なし」と呼ぶ者あり）それでは以上をもちまして、産業建設常任委員会を閉じます。

午後2時22分 散会

令和3年（2021年）5月25日

産業建設常任委員長 中村博行